

宮城県におけるワタの鉢物栽培技術

宮城県農業・園芸総合研究所

1 取り上げた理由

ワタは、夏季に花、冬季にコットンボールが鑑賞可能で、家庭では秋以降室内に取り込んでクリスマスの装飾をするなど、多様な楽しみ方ができる新規鉢物品目として有望と思われる。ワタの高性及び矮性（わいせい）品種を鉢物栽培する場合、宮城県の環境条件に適合する作型が明らかとなったので、参考資料とする。

2 参考資料

- 1) 品種は高性または矮性（わいせい）を用い、20～25℃の温床で2～3週間育苗する。宮城県内において無加温施設内で栽培する場合は、5月中旬に定植する。これより早いと開花、開じよまでの日数が長くなり、遅いとコットンボール数が少なくなる（表1）。
- 2) 高性品種を5月中旬に直播すると、定植した場合と同等の生育、コットンボール数が得られ、同時期に開じよするので、育苗作業が省略でき、栽培期間も短縮できる（表2、表3）。
- 3) 高性品種を5月中旬に直播または定植すると8月末～9月初めに開じよ始期となる。矮性（わいせい）品種を5月中旬に定植すると8月上旬に開じよ始期となる（表1、表3）。
- 4) 生育適温期間中は主茎が伸長し続けるので、鉢とのバランスを考慮し摘心する。7号鉢の場合、主茎長60cm程度とし、支柱を使用する。

3 利活用の留意点

- 1) 種子は市販のものが利用できる。自家採種する場合は、完全に開いたコットンボールの綿毛を取り除き、充実したものを採種する。直播では、特に複数株を1鉢に植える際には不発芽や発芽の不揃いを考慮し、多めに播種して本葉展開後に間引く。
- 2) 出荷適期は開じよ始期で、1鉢のコットンボール数が多いほどボリュームがあって市場性が高い（仙台市中央卸売市場鉢物担当者からの聞き取り）。なお、開じよ始期において発らい、開花は継続中であり、花も観賞できる。
- 3) 試験は以下の条件で行っている。
 - a 高性品種はアップランド系、矮性（わいせい）品種は「新疆棉セミトール」を用い、宮城農園研ガラス温室（無加温）で栽培している（図1）。耕種概要は表4のとおりである。
 - b 果皮に切れ目が入り、綿毛が見えた状態を開じよとしている。平成27年の開じよ始期および開じよ始期は、1鉢中最も早く開花および開じよした株のもので、開花時および開じよ時の生育もその株について調査している。
 - c コットンボール数は、平成26年は11月11日に高性品種は直径3cm以上、矮性品種は2cm以上のものを計数している。平成27年は開じよ始期に結実が確認できたものを計数している。
 - d 1鉢当たりの資材費（税抜き）は、硬質ポリポット、支柱、用土で各233.2、37.3、198.2円、計468.7円である。

（問い合わせ先：宮城県農業・園芸総合研究所園芸栽培部 電話022-383-8132）

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

宮城から提案する新規園芸品目の生産技術の開発（平成26～27年度）

2) 参考データ

表1 鉢物ワタにおける定植時期別の開花日及び開じょ日, コットンボール数(平成26年)

品種	試験区	定植日	開花始期	到花日数(日)	開じょ始期	開じょまでの日数(日)	コットンボール数(個/鉢)
高性	4月定植	4月10日	7月4日 ± 3.2	85	8月23日 ± 0.8	135	10.4 ± 1.1
	5月定植	5月13日	7月11日 ± 2.0	60	8月31日 ± 1.1	111	11.3 ± 1.7
	6月定植	6月16日	8月9日 ± 2.9	55	10月9日 ± 3.2	115	7.7 ± 2.2
矮性	4月定植	4月10日	6月17日 ± 1.0	68	8月5日 ± 0.8	118	14.7 ± 2.9
	5月定植	5月13日	7月2日 ± 1.7	50	8月10日 ± 2.3	90	15.0 ± 2.8
	6月定植	6月16日	7月29日 ± 1.5	44	9月8日 ± 0.0	84	12.9 ± 1.6

※平均値±標準偏差(n=7)

表2 鉢物ワタ(高性品種)における開花始期の生育(平成27年)

試験区	播種日	定植日	開花始期	到花日数(日)		草丈(cm)	節数(節)	一番花節数(節)
				播種後	定植後			
直播	5月13日	-	7月15日 ± 0.7	64	-	35.7 ± 3.5	8.0 ± 0.5	5.1 ± 0.3
定植	5月1日	5月13日	7月11日 ± 1.2	71	59	36.3 ± 3.8	8.6 ± 3.8	5.3 ± 0.7

※平均値±標準偏差(n=10)

表3 鉢物ワタ(高性品種)における開じょ始期の生育(平成27年)

試験区	開じょ始期	開じょまでの日数(日)		草丈(cm)	節数(節)	コットンボール数(個)
		播種後	定植後			
直播	9月1日 ± 3.1	112	-	48.6 ± 14.6	13.3 ± 3.5	5.4 ± 0.8
定植	9月1日 ± 1.9	124	112	46.7 ± 6.8	15.4 ± 2.1	6.4 ± 1.6

※平均値±標準偏差(n=10)



図1 出荷期の草姿(平成27年9月4日撮影)

左: 高性品種 右: 矮性(わいせい)品種

表4 耕種概要

	平成26年	平成27年
播種等	128穴セルトレイに播種, 20℃温床で育苗し, 本葉展開後, 7号硬質黒ポリポットに1株/鉢定植	直播区: 7号硬質黒ポリポットに6粒/鉢を直播し, 本葉展開後3株/鉢に間引き。定植区: 平成26年と同様に育苗後, 3株/鉢定植
播種日	4月定植: 3月25日, 5月定植: 4月28日, 6月定植: 6月2日	表2に記載
用土	赤玉土: 腐葉土: パーミキュライト = 6: 3: 1の混合培土を3.5L/鉢充填	同左
基肥	CDUタマゴ化成(15:15:15)をN成分量で40mg/L施用	CDUタマゴ化成(15:15:15)をN成分量で450mg/L施用
追肥	クマイ液肥2号(10:4:8)500倍を7月初め~10月末の灌水(かんすい)時に3L/鉢施用	クマイ液肥2号(10:4:8)500倍を8月下旬~9月末の灌水(かんすい)時に3L/鉢施用

3) 発表論文等 なし

4) 共同研究機関 なし